

令和5年度市川三郷町第2次総合戦略

総合戦略検証委員会中間検証結果
(令和5年11月16開催)

令和5年度市川三郷町総合戦略中間検証

区分	事業名 (担当課)	評価項目	評価基準		全検証 評価委員	検証委員意見・評価等
継続	空き店舗チャレンジショップ事業 (商工観光課 商工係) 【概要】 ・中央通りなど商店街で空き店舗の情報提供を行い、若者など熱意のある人に起業の機会を提供し、空き店舗の有効活用と起業支援を行い、補助金を交付する。 【数値目標】 ・補助金申請件数1件 【中間実績・担当評価(10/1現在)】 ・補助金申請件数3件:順調(目標値以上) 【年度末までの活動内容や課題等】 ・需要が増加しているが、店舗登録を増やせるかが課題。	事業の進捗状況	A	KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)	A	○実績が出たことはとても良いと思う。情報が大切なので情報収集できる仕組みづくりが必要。 ○情報収集が大事だと思う。 ○目標を上回る成果が出ており、今後、さらに注目してもらう対応や工夫が必要と思う。既時性を高めるために、アプリなどの導入も進めてほしい。 ○①創業の際、店舗や事務所など初期投資が必要となる。創業を後押しする面でも必要な施策。②入居者や相談者には、商工会でも様々な施策があるので、連携させる仕組みを作って総合的に対策を実施してほしい。③商工会では、創業塾を実施している。身延町にあるように、創業した方への補助についても対応できるよう、競争に勝てるように拡大してほしい。企業の進出は町の税収アップにもつながる。町は、予算に反映できるよう努力してください。
			B	KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)		
			C	KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)		
			D	KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。		
			E	KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。		
		点数換算			A	○町の活性化のためには、産業の発展が不可欠であり、商店街等で閉店している店舗が多いのはマイナスイメージです。事業者が新たに町内で出店したい等のニーズも少なからず存在するので、多くの件数が補助できるように工夫をお願いします。 ○目標は大きく掲げて推進していただきたい。町が元気になる施策はこの事業くらいしかありませんので頑張ってください。 ○空き店舗はまだあるはずなので、人口増加が見込めるよう情報収集してほしい。 ○目標を超える実績が得られたことは良かったが、相談が6件あることから目標が低すぎたのではないか。お試し出店や出店時の経営シュミレーション(収入の試算)など、起業への後押しとなる取り組みも考えてほしい。
		今後の方向性	A	事業拡充(さらに発展させるべき)		
			B	事業改善(内容を見直し取り組むべき)		
			C	事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)		
			D	事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)		

令和5年度市川三郷町総合戦略中間検証

区 分	事業名 (担当課)	評価 項目	評価基準		全 検 体 証 評 委 員 員	検証委員意見・評価等			
新規	JR東海との連携による観光の推進 (商工観光課 観光係) 【概要】 ・町内に7つある駅を有効活用した観光イベント を行い、関係・交流人口増加につなげる。 【数値目標】 ・身延線の旅イベントを2回以上開催する 【中間実績・担当評価(10/1現在)】 ・身延線の旅イベント2回実施:順調(目標値以上) 【年度末までの活動内容や課題等】 ・次年度に向け、よりよいイベントが開催できる よう協議を重ねる。	事業 の 進 捗 状 況	A	KPIの達成に向けて事業が推進され、十分 な効果があった。(良好)	B	○町内の買い物マップ(食事だけではなく)もあればよいと思います。オプションルツアーが可能 であれば、お金をもらって四尾連湖へ行くツアーなど良いと思います。 ○観光スポットをもっとPRして、JR東海と観光客を誘致してもらいたい。 ○成果を残している。多様化する観光ニーズに対応して新たな企画にもチャレンジしてほしいと 思います。レストランやお店にも協力をさらをお願いすることも必要。 ○地元を知ってもらうことや、商店を利用することで消費拡大にもつながる。季節ごとの展開や、 ターゲットなども意識する中でさらに事業を進めて、リピーターを増やすような取り組みをしてほ しい。 ○神明の花火大会の有料観覧席の増加を行い、鉄道事業の優遇を図ることで車の駐車場・渋 滞問題も解決する。 ○町内の店舗へ寄っていただけるように店の「名物」を発信していただきたい。 ○特産物のPRを積極的に行う。 ○参加者の主なターゲットや旅行ニーズ・テーマを設定して取り組んでいただければと思いま す。(駅マルシェなど実現できるといいと思います)			
			B	KPIの達成に向けて事業が推進され、相当 程度の成果があった。(概ね良好)					
			C	KPIの達成に向けて事業が推進されたが、 成果が不十分であった。(必ずしも良好とは 言えない)					
			D	KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期 待する。					
			E	KPIの達成に向けての事業推進が不十分で ある。					
							点数換算		
		今後 の 方 向 性	A	事業拡充(さらに発展させるべき)			A		
			B	事業改善(内容を見直し取り組むべき)					
			C	事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)					
			D	事業廃止(地方創生に効果がなかったこと から、事業をやめるべき)					

令和5年度市川三郷町総合戦略中間検証

区 分	事業名 (担当課)	評価 項目	評価基準		全 検 体 証 評 委 員 員	検証委員意見・評価等
継 続	ことばの森教室事業 (生涯学習課 生涯学習係) 【概要】 ・作文の添削指導を年4回行い、文章を書くことにより子供が自ら考える力を育み、併せて総合的な国語能力の向上を目指す。 【数値目標】 ・受講対象児童生徒の39.5%以上が受講すること 【中間実績・担当評価(10/1現在)】 ・受講率44%: 順調(目標値以上) 【年度末までの活動内容や課題等】 ・第1回から第2回にかけて、課題提出率が下がる傾向あり、学校を通して周知を行っていく。	事業の進捗状況	A	KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)	A	○作文教室から始めて、書き方等から指導していただくとありがたいです。600字のハードルが高い子もいるので、字数を分けて選べるようにしたらどうかと思います。 ○優秀作品を新聞社に提出し、町内の児童生徒が掲載されると嬉しいです。今後も続けてほしい事業です。 ○成果を残している。学校教育との連携やつながりなどを再度精査して、さらに効果的な事業にしていきたい。指導される先生方の後継者の発掘も早めをお願いしたい。 ○社会に出てから役に立つ施策である。課題を整理して受講者を増やしていったほしい。考える力、物事を論理的に考える力もついてくる。 ○大変重要な取り組みであり、多くのお子さんの受講が大切だと思います。受講率向上を図ってほしい。 ○今後の入試制度の変更に伴い、実績値の向上に努めていただきたい。 ○作文が書けない生徒を無くす努力をしてもらいたい。50%以上を目標に目指して。 ○算数や理科の設問の意味が分からないなどの基礎的な国語力のためにも大切な取り組みだと思います。
			B	KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)		
			C	KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)		
			D	KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。		
			E	KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。		
			点数換算			
		今後の方向性	A	事業拡充(さらに発展させるべき)	A	
			B	事業改善(内容を見直し取り組むべき)		
			C	事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)		
			D	事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)		

令和5年度市川三郷町総合戦略中間検証

区 分	事業名 (担当課)	評価 項目	評価基準		全 検 証 委 員 評 価	検証委員意見・評価等
継 続	若者定住促進住宅補助金事業 (政策推進課 政策推進係) 【概要】 ・町外からの移住者や町内からの人口流出を防ぐことで人口増加を目指す。住宅を取得した40歳以下の若者世帯に50万円の補助金を交付する。 【数値目標】 ・申請件数 30件 【中間実績・担当評価(10/1現在)】 ・申請件数 12件・努力が必要(80%未満) 【年度末までの活動内容や課題等】 ・住宅メーカーや不動産業者へ、チラシ配布等で事業周知を図る。	事業の進捗状況	A	KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)	C	○補助金を出すことが目標ではないと思いますので、どうやって知ってもらうかが大切だと思います。「市川三郷町の補助金一覧」のようなものを広報・HP以外でも周知したらどうか。(例えばYouTube等SNSで) ○予算が確保できるなら、人口増加のため若者に補助金を交付することは今後も続けてほしい。(所得制限がないのも良いこと) ○人口を確保するためには必要な事業なので、達成目標の50%足らずの状況であるが、PR面に本気になって取り組む必要がある。個別の対応から課題を明確にしてほしい。 ○9月末現在は12件だが、その後16件となったので年度末までの見込みを勘案して進捗状況をBとした。若者への周知方法が課題である。
			B	KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)		
			C	KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)		
			D	KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。		
			E	KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。		
			点数換算			
	今後の方向性	A	事業拡充(さらに発展させるべき)	B	○私の職場の市川三郷町出身者が、今回市川三郷町に住宅を建設予定だが、この事業を知らなかった。周知方法の見直しにより、多くの若者を引込む事ができると思います。(晴耕雨読やフリーペーパーへの掲載) ○事業のPRを積極的に行っていただきたい。 ○社会情勢に左右される点では、目標未達もやむを得ないと思います。	
		B	事業改善(内容を見直し取り組むべき)			
		C	事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)			
		D	事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)			

令和5年度市川三郷町総合戦略中間検証

区 分	事業名 (担当課)	評価 項目	評価基準		全 検 体 証 評 委 員 員	検証委員意見・評価等	
継 続	市川三郷町ゆかりの会「りんどう」事業 (総務課 広聴広報係) 【概要】 ・町外、県外で生活している町内出身者や市川三郷町を応援してくれる方々、町民を含めたゆかりの会を運営し、町内イベント、ふるさと納税制度等の情報発信や交流事業の実施など市川三郷町の発展を念頭に置いた活動を行う。 【数値目標】 ・町外個人会員数 86人 【中間実績・担当評価(10/1現在)】 ・町外個人会員数 77人:概ね順調(80%以上100%未満) 【年度末までの活動内容や課題等】 ・高齢による脱退が目立つ。今後のりんどうの在り方・運営方法について、役員や会員と検討する必要がある。	事業の進捗状況	A	KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)	C	○やはり、まとめることができる事務局があると良いと思います。できれば町内から町外・県外の方に発信してまとめていただくと良いと思います。もっと発展させるべきと感じました。 ○会員も高齢になりつつ、減少傾向にあるので会員数を増やすばかりではなく、存続していくことが大切ではないか。 ○情報共有のみではなく、事務局発信の企画も必要ではあるが、メンバーからの主体的な企画、アイデアを出して進める必要がある。町の事業への具体的なアクションへの位置づけ。 ○他の4つの事業は目的がはっきりしていたが、一番目的が分かりづらい。町として何を求めどのようにしていきたいか、明確にする必要がある。進捗状況をDとしたが、人数が評価となるのではなく、目的のために何ができたかを達成目標としたほうが良いと思う。外部から見た市川三郷町に各方面から意見や提言を頂くなどしたら良いかと思います。	
			B	KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)			
			C	KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)			
			D	KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。			
			E	KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。			
			点数換算				
		今後の方向性	A	事業拡充(さらに発展させるべき)	B		○町外の当町ゆかりの方々との関係を継続することで、行財政改革推進に対する支援等受けられると思いますので、活動内容を見直しながら継続すべきと考えます。 ○会の自走化に向けて体制づくりをしっかりとっていただきたい。 ○事業内容がわからない。 ○町内、小中学校の同窓会の幹事さんに協力を依頼して、同窓会の通知を出す際に「りんどう」を紹介してもらってはどうか。
			B	事業改善(内容を見直し取り組むべき)			
			C	事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)			
			D	事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)			